

岡崎で活躍するイラストレーター・ももくらげさん

「ゆるふわでかわいい」を発信！

「ゆるふわな動物」をテーマにしたかわいいキャラクターが評判のイラストレーター・ももくらげさん。

独特的の柔軟なタッチが生み出す個性的な動物のイラストを、LINEスタンプやさまざまなグッズとして販売し、多くのファンから支持を集めています。

子どもの頃から描き続けたかわいい動物が大人気！

ももくらげさんは美術系の専門学校を卒業後、仕事をしながらイラストレーターとして活躍してきました。絵を描き始めたのは小学生の頃。当時から「今につながるようなゆるいティーストの絵を描いていた」と話します。「小学校の授業で周りの同級生よりうまくかけたことが自信になり、どんどんと楽しくなつていきました」。

友人から勧められた少年漫画『NARUTO -ナルト-』の春野サクラなど、

ト「BOOTH」を通じていつも購入可能です。

シンプルだからこそ線の美しさにこだわる



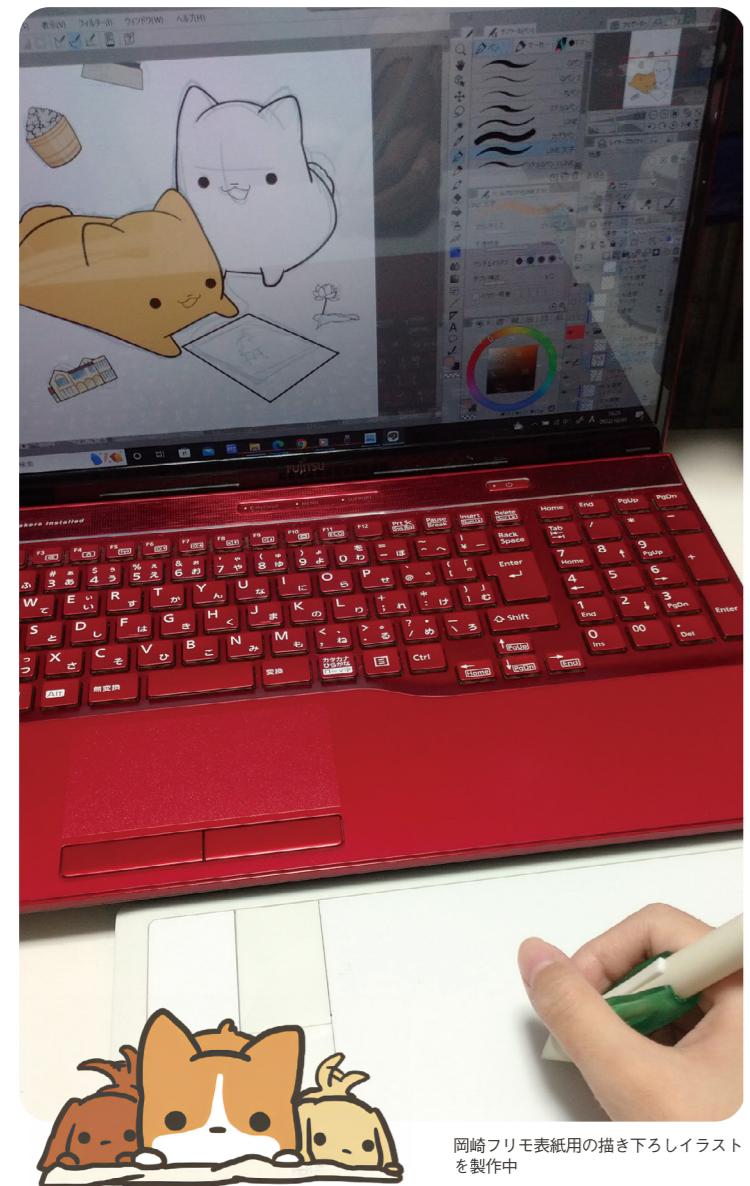
一は描けそうなくして」と、自身の性格を投影した部分もあるとのこと。購入した人の使いやすさを意識し、試行錯誤しながら徐々にバリエーションを増やしていました。

ももくらげさんのイラストの特徴は、柔らかく温かみを感じる独特のタッチ。緩やかな曲線が、動物たちのかわいらしさを一層引き立てています。

一番人気は「だらけるしばいぬくん」。誕生したのは「LINEスタンプで人気の動物を描いてみよう」と思い立ったのがきっかけでした。「私はそこまで明るい性格ではないし、元気なキャラクタ

「別のイラストを描いている時に浮かぶことや、その場でパッと思いつくこともあります」と個性あふれるキャラクターの誕生背景を教えてくれたももくらげさん。思ひ浮かんだアイディアは、その場で紙にメモし、デジタル化しています。キャラクターの仕上げで一番気を付けてるのは、シンプルだからこそ線をきれいに描くこと。「だらけるしばいぬくん」制作時は納得いく線になるまで何度も描き直します。「最低でも1時間はかかります」。動物と一緒に小物などを描く時には、細部に至るまでネットで詳しく調べます。

県外のイベントを通じて多くの人に作品を届けたい



コロナ禍以前は、ポートメッセなごやで開催される「クリエーターズマーケット」に定期的に出展していました。「日の前で作品を見てくださり、実際にグッズを手に取つてどれにしようか真剣に悩んでいたりする光景を目にするうれしかったです」。現在はイベント出展を自粛していますが、コロナ収束後は「県外のイベントにも積極的に参加したい」と話します。「リアルイベントを通じて、これまで私の作品に触れていない方にも知つていただけたら」と今後の抱負を語りました。

LINEの特集で三河弁のキャラクターを考えましたが、今後は愛知県をネタ

女の子のキャラクターを模写するうちに、それまで苦手だった真つすぐな線の描き方も少しずつ上達しました。ももくらげさんが影響を受けたのは、2000年代に一大ブームを巻き起こした「リラックマ」。それまで動物以外のキャラクターを描くことが多かつたももくらげさんのノートには、ゆるふわな動物たちがたくさん登場するようになります。

その後、専門学校に入学する前には再び動物のキャラクターに夢中になってしまいます。「子どもの頃から描いていたこともあり、動物のイラストが一番手に馴染みました」

小・中学校の頃はインターネットに触れる機会がほとんどなく、自分のパソコンも持っていないませんでした。高校時代からイラストサークルなどに投稿を始めますが、その頃はオリジナルの人物イラストなども描いていました。「より動物のイラストに特化し始めたのは、LINEスタンプの影響が大きかったです」。LINEスタンプでのイラスト販売を機に、2015年からイラストレーターとしての活動がスタートしました。

現在はLINEスタンプ以外に、オリジナルのイラスト制作、人気キャラクターをあしらったグッズなども販売。インスタネット上のクリエイターズマーケッ



ももくらげグッズたち

人気の「しばいぬくん」シリーズ。アクリルストラップやふわふわのクッションなど、種類豊富。



にして作つてみると面白いと考えています

「最近はSNSもありますので、自分の作品をどんどん発信しているのがおすすめです」とイラストレーターを目指す人へのアドバイスを語ってくれました。「やっぱり描き続けることが大事。私はデジタルに触れるのが遅かつたですが、今はタブレットやスマホで気軽に描ける環境が整っています。積極的に作品を描いて発表してみてほしいです」

